

9月の行事予定

家庭学習を充実させ、
しっかり定着させよう！

日	曜日	認定こども園	上士幌小学校	上士幌中学校	上士幌高校	町内行事等
1	火		内科検診(4・6年)	全校朝会		生涯学習ラリー (9月・10月開催予定)
2	水			前期期末テスト		
3	木		全校朝会			
4	金		クリーン作戦(予備日) 定時退勤日			
5	土	土曜保育日		全十勝野球		
6	日					
7	月		評価業務			
8	火		児童会役員選挙 歯科検診(1・2年) 地域と学校連携推進協	生徒会役員選挙 スクールカウンセラー来校		
9	水	身体測定(2・5歳)	評価業務 心電図(1年)			
10	木	こども園開放日 身体測定(1・4歳)	発達支援センター職員学校訪問	専門委員会 学力テストA(3年生)		
11	金	身体測定(0・3歳)	評価業務		中小企業家同友会面接(3年)	
12	土	土曜保育日		全十勝テニス(個人)	体験入学(仮)	カッコウのお話会
13	日					
14	月					
15	火		内科検診(1・2年) 児童会◎(前期反省) PTA生活部街頭指導	発達支援センター職員学校訪問 スクールカウンセラー来校	生徒会役員選挙	
16	水	お誕生会		心臓健診(1年)		エッセー教室
17	木				職場体験実習(18日まで)	
18	金		定時退勤日			
19	土	土曜保育日		全十勝テニス(団体) 全十勝卓球選手権大会(2年)		マラソン大会 絵本のトビラ
20	日			全十勝サッカー(22日まで) 全十勝卓球選手権大会(1年)		
21	月			敬老の日		
22	火			秋分の日		
23	水		児童会①(後期計画)			
24	木		放課後ほろんクラブ			
25	金	避難訓練	図書館連携「公開研究発表会」			
26	土	うんどう会		吹奏楽部定期演奏会	第4回道看模試 第4回基礎小論文模試 第1回高2公務員模試	
27	日				第1回全商情報処理検定	
28	月	幼休		定時退勤日		
29	火	お楽しみの日	内科検診(3・5年)		交通安全講話(予定) 委員会活動日	
30	水				前期終業式 交通街頭キャンペーン(仮)	

行事予定は変更となる場合があります。学校からの案内や町ホームページ等をご確認ください。

※お問い合わせは、教育委員会 生涯学習課 生涯学習・社会教育担当(☎2-3024)まで

かみしほろCS(コミュニティ・スクール)レター



令和2年8月
第53号

「ゆめ育」応援団企業に訪問

Q. サイクルストア市川さんは、どんな会社ですか？
A. 自転車の販売・点検・修理、冬にはストーブの販売や修理をしています。

Q. CSについてどう感じていますか？
A. 私たちが子育て中は、PTAや少年会の活動が盛んで、野遊会や登山会、自転車遠足、海への遠足、百人一首(かるた)大会など、親や地域住民の関わりを大切に、色々な問題解決にもつながっていました。先生・子どもたち・親(町民)の結びつき、方向性が一致することが大切だと思うので、現在のコーディネーターの役割は重要だと感じています。

Q. これまでの活動を教えてください！

A. 町探検の受け入れや、各学校の自転車点検、交通安全見守りをしています。家庭生活の中での学び、親同士の横のつながりなど、これからも応援していきます！



学校運営協議会委員のご紹介



上士幌小学校運営協議会
石井 伸幸 さん

今年度より新しく協議会委員になりました。千葉県出身、上士幌在住7年目になります。一昨年は、4年生と共に学習した際、地域の指導者を迎えて「和太鼓」に取り組みました。大変お世話になり、また、その指導力にも驚かされ、子どもたちにとっても充実したものになりました。この地域にはまだまだこのような素晴らしい人材や環境があると感じています。

新型コロナウイルスの問題も解決していない現状で、どのような活動が可能か不安な面もありますが、上士幌の未来を担う、子どもたちの豊かな学びや成長を支えるために、地域と学校がどんな取り組みをしていけばよいのか、これからは模索していきたいと思えます。

第2回学校運営協議会(上中)

※第1回は紙面会議にて実施

★CSについて説明(組織・役割・これまでの取組実績)「生きる力」「社会に開かれた教育課程」

★令和2年度学校経営方針

①コロナ対策～学びの保障等②学校経営～学校力の強化、ESDGs③学校教育の推進～家庭学習、キャリア教育、読書推進等④いじめ・不登校への対応⑤職員室経営⑥働き方改革～教職員の指導力向上、子どもと向き合う時間の確保など

2019年度CS評価「4 学校と地域の関わり」

●各委員記述意見(一部文言を変更しています)

- CSコーディネーターのおかげで、学校と地域の距離が縮まっている。
- 地域の大人を、より身近に感じることで、安心や希望を与えられれば良いと思う。
- 何か特別な事業ではなく、普段の生活の中で関係が近くなったと思えることができればなお良いと思う。
- CSにこだわらず、今後も町内会として応援したい。
- かみしほろ学での地域連携が、充実している。
- 教職員の熱気球パイロット取得者も出て、今後の活動が期待される。
- 農業体験、職業体験など、子どもたちにとっても刺激になり、社会勉強の貴重な機会となっている。
- 子どもたちの活動や発表を参観していただく機会が増え、教職員もやりがいを感じている。
- 学校や教師から協力を求められれば、地域住民も学校の活動に参加しやすい。
- 「ゆめ育」応援団の協働の取組に対し、保護者の関心がさらに高まり、主体的な活動につながると良い。

■→よく進んでいる ■→概ね進んでいる ■→少し進んでいる ■→進んでいない ■→わからない (単位:%)

○地域と学校の緊密化	23	53	16	6	2
○子どもたちの多様な学びの機会	41	35	20	4	4
○学校と「ゆめ育」応援団の協働	33	33	18	12	4